

第22回 高山市近代文学館企画展 瀧井孝作 没後三十年展 三月十四日(土)・十五日(日)

第三部

◇会場 高山市図書館「煥章館」一階生涯学習ホール
◇入場無料

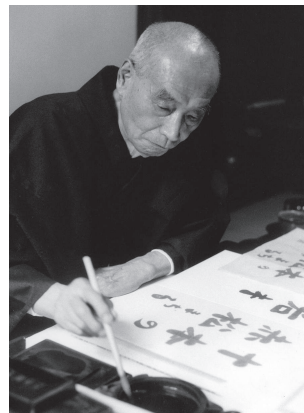
「俳人 折柴」

瀧井孝作は、丁稚奉公をしながら近所の青年に俳句を学んだ。十五歳の時に河東碧梧桐に俳句を認められ、句誌への投稿を始める。その際号を「折柴」(読みは当初は『おりしば』であったが、碧梧桐の勧めで「せつさい」と読ませるようになった)とした。十八歳の時に高山を飛び出し大阪へ行き、特許事務所に勤めながら俳句活動が続けた。

◇日時 三月十四日(土)・十五日(日) 午前十時～午後五時(最終日午後四時まで)

高山市文化協会では、郷土の文化を支えてきた文学者の経歴と功績を紹介し、今後の文学の発展に寄与する目的で、毎年二回の「近代文学館企画展」を開催しています。昨年より「瀧井孝作 没後三十年展」と題し、高山市名誉市民である瀧井孝作の文学者としての生涯について、二回に分けて紹介してきました。今回の第三部では、瀧井孝作の俳人「折柴」としての経歴を、その作品を通して紹介します。

「おりしば」であったが、碧梧桐の勧めで「せつさい」と読ませるようになった)とした。十八歳の時に高山を飛び出し大阪へ行き、特許事務所に勤めながら俳句活動が続けた。



二十歳で上京し、碧梧桐中塚一碧楼、大須賀乙字らと共に句作を行う。碧梧桐の句誌『海紅』の編集なども手伝った。『海紅』への寄稿は、昭和十二年に碧梧桐が死去するまで続いた。

その後も俳人としての活動は続き、昭和三十六年に編集にたずさわった『小沢碧堂句集』が「読売文学賞」を受

ける。そうした俳人としての活動を基に書かれたのが「日本文学大賞」を受けた『俳人仲間』である。続編である『続俳人

仲間』は、昭和五十九年の瀧井孝作の死去により、未完に終わる。

主な句集

『折柴句集』『浮寝鳥』『雪間の菜』『海ほづき』『瀧井孝作全句集』『山桜』

(ウィキペディアより抜粋)

高山市図書館内の「近代文学館」には、郷土出身の文学者の資料を収蔵、展示しております。また瀧井孝作の書斎を模したコーナーもあります。ぜひお立ち寄りください。



(一社)高山市文化協会加盟団体

文化協会後援 催事のお知らせ

光ミュージアム開館十五周年記念 特別展『桜 さくら サクラ』大観、玉堂、松園、清方、加山又造他』

◇日時 六月九日(火)まで開催中

◇会場 光ミュージアム

◇料金 入館料が必要

【記事訂正のお知らせ】

前号の角竹氏の紹介文冒頭の「二八五五年生まれ」は、「二八八五年生まれ」の間違いでした。お詫びして訂正します。

「風目(目)」

森繁久彌の「知床旅情」は名曲だと思う。この曲が使われた映画「地の涯に生きるもの」で、厳寒の番屋に一人猫と暮らすオホーツクの老人の哀愁を、森繁はみごとに演じた。オホーツクの海に向こうに見える国後島は、還らぬ北方領土の島。知床、ハマナス、国後、白夜と続く言葉は、人々の心に深く残った。人はそれぞれの旅を生きている。

加藤登紀子が、後日この曲を歌い直してレコードに吹き込んだ。森繁はその歌に、唯一つだけ注文を付けたという。

歌の終わりに「忘れちゃいやだよ 気まぐれカラスさん 私を泣かすな 白いかもめよ」とあるが、「かもめよ」は「かもめを」と。 「よ」と「を」では意味が全く違ってくる。

ロケが終わって東京に帰って行く気紛れなカラスさんは森繁で、白いカモメは地元の娘。村の娘が私を忘れるなと訴えている。だとすると、カラスを見送るカモメの言葉は、「かもめを」でなくてはならないのだ。

春まだ浅い知床に、ハマナスの花が咲くのはまだまだ先だ。

〈ガンモン毛筆〉

道伝えの日茶会

平成27年 新春飾り物展優秀作品展

毎年恒例の道伝えの日茶会、日替わりで抹茶席と煎茶席を設け、気軽に伝統文化を体験できます。同時開催の飾り物展では、干支「未」と歌会始のお題「本」にちなんだ作品を展示します。



平成27年 **4/25 土 26 日** 高山市文化伝承館
高山市神明町3丁目200 tel.0577-36-1744
チケット料金(税込) [呈茶券] 300円 ◆飾り物展は入場無料

May J. Spring tour 2015 ~ReBirthday~

2014年に大ヒットとなった映画「アナと雪の女王」のエンディングテーマ～Let It Go ありのままで～を歌い話題となった「May J.」が高山にやってくる!



平成27年 **5/28 木** [夜公演] 高山市民文化会館 大ホール
[高山市文化芸術鑑賞事業]
高山市昭和田1丁目188-1 tel.0577-33-8333
チケット料金(税込) [全席指定] 6,000円
チケット発売 [メセナメイト先行発売 4月11日(土) / 一般発売 4月12日(日)]

劇団わらび座 Presents 舞楽詩

風の又三郎 原作:宮沢賢治

「どっどど どどうど」。宮沢賢治の名作「風の又三郎」を、劇団わらび座が和楽器・洋楽器を用いた歌とパフォーマンスでお送りする「舞楽詩」。新たな賢治の世界が広がります。



平成27年 **5/31 日** [昼公演] 久々野公民館ホール
[高山市文化芸術鑑賞事業]
高山市久々野1505-4 tel.0577-52-3112
チケット料金(税込) [全席自由] 未定 チケット発売 4月18日(土)

高山文化フォーラム2015

高山の文化団体が一堂に会し、それぞれの研鑽の成果を発表します。謡、琴、尺八、日舞、洋楽などの芸能発表の他、美術、写真、華道、文芸の文化展も開催します。



平成27年 **6/6 土 7 日** 高山市民文化会館
高山市昭和田1丁目188-1 tel.0577-33-8333

文化展	6月6日(土)・7日(日) 場所:各階展示室	いずれも入場無料
芸能(第1部)	6月6日(土) 午後6時～ 場所:小ホール	
芸能(第2部)	6月7日(日) 午後1時～ 場所:大ホール	

一般社団法人 高山市文化協会 入会のご案内

趣旨にご賛同いただける方は、ぜひご入会下さい。なお、個人会員の他、文化団体や企業としてどなたでもご入会いただけます。

高山市文化協会では、会員の皆様のご助力を得て上記のような様々な活動を行っています。当協会では、こうした活動を支えてくださる方を、随時募集しています。

入会のお申し込みは、事務局にて随時受付中!!

TEL・FAX・郵送によるお申し込みも承ります。氏名(団体名・企業名)、住所、電話番号を明記のうえ、下記へお申し込みください。
〒506-0053 高山市昭和田1-188-1 高山市民文化会館 3階 tel.0577-34-6550 fax.0577-34-6877

東京楽所 七夕の雅楽

東京楽所の第2回公演は、「七夕の雅楽」をお届けします。日本雅楽の大事な要素として「季節感」があります。源氏物語にも、音楽で季節を楽しむ雅な様子が描かれています。今回は、雅楽で唯一「七夕」に関係する「朗詠 二星」をはじめとした管絃と、舞楽を披露します。



平成27年 **7/5 日** [昼公演] こくふ交流センター さくらホール
[高山市文化芸術鑑賞事業]
高山市国府町広瀬町880-1 tel.0577-72-3111
チケット料金(税込) [全席指定] 未定 チケット発売 5月16日(土)

松竹大歌舞伎

今年の松竹大歌舞伎には、中村橋之助丈を迎え、『天花紛々野初花 河内山』『藤娘・芝翫奴』をご覧ください。また、元NHKアナウンサーで古典芸能解説者でもある葛西聖司さんに、歌舞伎について分かりやすく説明していただくプレセミナーを開催します。



©松竹

平成27年 **7/23 水** [夜公演] 高山市民文化会館 大ホール
[高山市文化芸術鑑賞事業]
高山市昭和田1丁目188-1 tel.0577-33-8333
チケット料金(税込) [全席指定] 未定
チケット発売 [メセナメイト先行発売 5月23日(土) / 一般発売 5月24日(日)]

歌舞伎 プレセミナー

◇日 時 6月11日(木)夜
◇会 場 高山市民文化会館 小ホール
◇料 金 無料

第39回 飛騨文芸祭

昨年は、高校生が文芸祭賞を受賞するという快挙があった飛騨文芸祭。今年も募集を開始しています。皆様の力作をお待ちしております。

◇ジャンル 小説、戯曲、児童文学、随筆(エッセイ)、評論、現代詩、短歌、俳句など
◇締 切 8月15日(土) ◇応募料 無料
◎詳細はお問い合わせください。



みんなで歌おう!! たかやま歌声広場

昔懐かしい歌声喫茶を彷彿とさせる、皆で歌い楽しめる広場がオープンします。誰もが知っているあの曲あの歌を、生バンドの演奏と共にみんなで歌いましょう!

平成27年 **8/23 日** [昼公演] 高山市民文化会館 小ホール
[高山市文化芸術鑑賞事業]
高山市昭和田1丁目188-1 tel.0577-33-8333
チケット料金(税込) [全席自由] 未定 チケット発売 7月11日(土)

この他に、「市民歴史散歩」、「お月見歌会」、「近代文学館企画展」、「日本板画院東海支部高山展」、「芭蕉忌句会」を予定しており、その他クラシックコンサートや民族舞踊公演、企画展、講演会、映画会なども企画しています。詳細は「広報 高山の文化」にてお知らせします。

年会費 個人3,000円 団体6,000円 賛助(企業)10,000円

特典

- 高山メセナメイトと同様の特典(チケット割引や先行購入)が受けられます。(団体会員は2名分、賛助会員は3名分の特典)
- 団体会員は、高山文化フォーラムへの参加資格が得られ、日頃の成果の発表の機会と、他団体との交流を深められます。また、当協会発行の広報「高山の文化」にて、後援行事や団体のご紹介をさせていただきます。
- 会員研修旅行へご参加いただけます。